

一般取扱説明

ロータリエンコーダは、精密なガラス製回転ディスクならびに電子回路が組み込まれています。
本ページをよくお読みになって、正しくご使用ください。

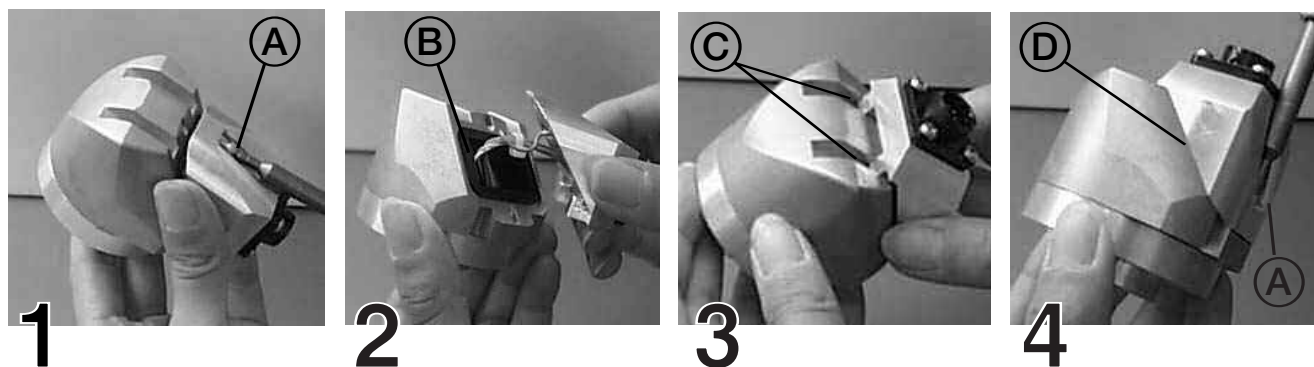
[1] 一般注意事項

1. 取扱うときは、落したり、硬いものにぶついたりしないでください。また、ケーブルを持って、本体をぶら下げないでください。
2. ご使用前に、ご注文の製品に間違いがないか確認してください。
3. ご使用前に、以下を準備してください。
 - a) 電源
リップルが5%以下（ノイズ含む）の電源をご用意ください。
使用する負荷に応じて、電源容量を算出してください。
 - b) 受信回路
エンコーダの出力に対応した受信回路をご用意ください。
ラインドライバ出力でラインレシーバICを使用する場合は、ラインドライバICに対応したラインレシーバICを使用してください。
4. 軸端の追加工（ヤスリ掛け、軸径の加工等）は行わないでください。内部を損傷する恐れがあります。
5. 保管するときは、以下の点をお守りください。
 - a) 結露しない場所に保管してください。
 - b) 静電気が多発する袋に保管しないでください。出荷時は、帯電防止袋を使用しています。
 - c) 硫黄を含むガスなど、腐食性ガスが発生しない場所に保管してください。

[2] コネクタ取出方向の変更

2-1 IRS5・IRS6型エンコーダ

コネクタ部の向きを変えることで、コネクタの出力方向を変更することができます。手順については、以下のように進めてください。
作業中、内部にゴミなどの異物が入らないように注意してください。故障などの原因となる場合があります。



1. 六角レンチ（対辺2.5mm）にてA部のネジ（M3×15）を外し、内部のリード線接続部を外さないように注意して、コネクタ部をエンコーダ部から外してください。
2. シール用のゴムパッキン（B部）がきちんと溝にはまっているか確認し、コネクタ部を回転させ向きを変えます。
3. 合わせ面にケーブルリード線を挟まないように注意して、エンコーダ上部の溝（C部）にコネクタ部の突起を合わせ、はめ込んでください。
4. A部のネジを締め付け、固定してください。（締め付けトルク:0.6Nm）その際、合わせ面（D部）に隙間がないか確認してください。
（トルクドライバ及びネジロック推奨）